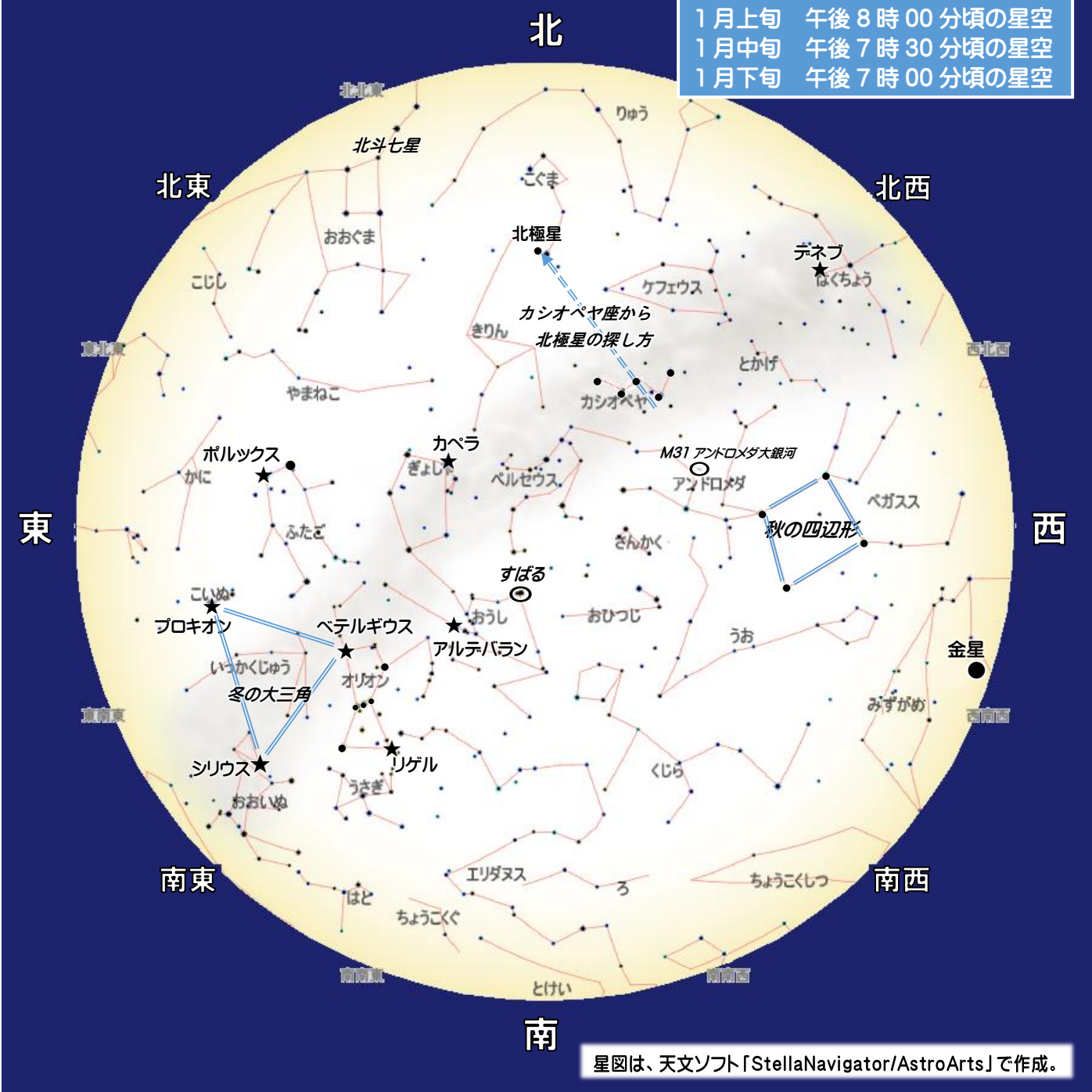


2020年 1月の星空案内



1月上旬 午後8時00分頃の星空
 1月中旬 午後7時30分頃の星空
 1月下旬 午後7時00分頃の星空



【1月の星空】

夕方の西空には、宵の明星「金星」が明るく輝きます。しだいに東の空から冬の星座たちが次々と現れてきます。全天で21ある1等星のうち7個が冬の星座に集中しています。特にベテルギウスとリゲル、2つの1等星をもつ『オリオン座』が有名です。真ん中の三つ星を目印に探してみてください。この『ベテルギウス』、おおいぬ座の『シリウス』、こいぬ座の『プロキオン』、3つの1等星を結んだ三角形を『冬の大三角』といいます。

【すばる】

天頂付近の少し東側に、いくつかの星がぼつぼつ集まっている様子を見ることができます。散開星団『プレアデス星団』(M45)です。日本では、まとまるという意味の『統(す)ばる』を語源とし、古くから『すばる』の名で親しまれてきました。肉眼では『アルキオネ(2.9等)』など5~7個の星をみることができ、双眼鏡では星の数がさらに増えて、青白い星を数十個も見ることができます。皆さんも、いくつ見えるか? ぜひチャレンジしてみてください。